



ISO 9001 登録範囲：
プロパン、ブタン、プロピレン、石化ナフサ、ベンゼン、
混合キシレン、ガソリン、灯油、ジェット燃料、軽油、
重油、炭酸ガス、硫黄の製造

大阪国際石油精製株式会社



ISO 14001 登録範囲：
石油製品と石油化学製品の製造



大阪国際石油精製株式会社

OIREC Osaka International Refining Company Limited

〒299-0108 千葉県市原市千種海岸1番地
TEL. 0436-23-9580(代)
<http://www.oirec.co.jp/>



この印刷物は、印刷インキ「植物性インキ」を使った「水なし印刷」で印刷しています。



この印刷物は責任ある管理がされた森林からの材を含むFSC®認証紙を使用しております。

大阪国際石油精製株式会社

千葉製油所は、
京葉臨海コンビナートのほぼ中央に位置し、
近隣会社との強い連携と
高い輸出能力を有する製油所です。

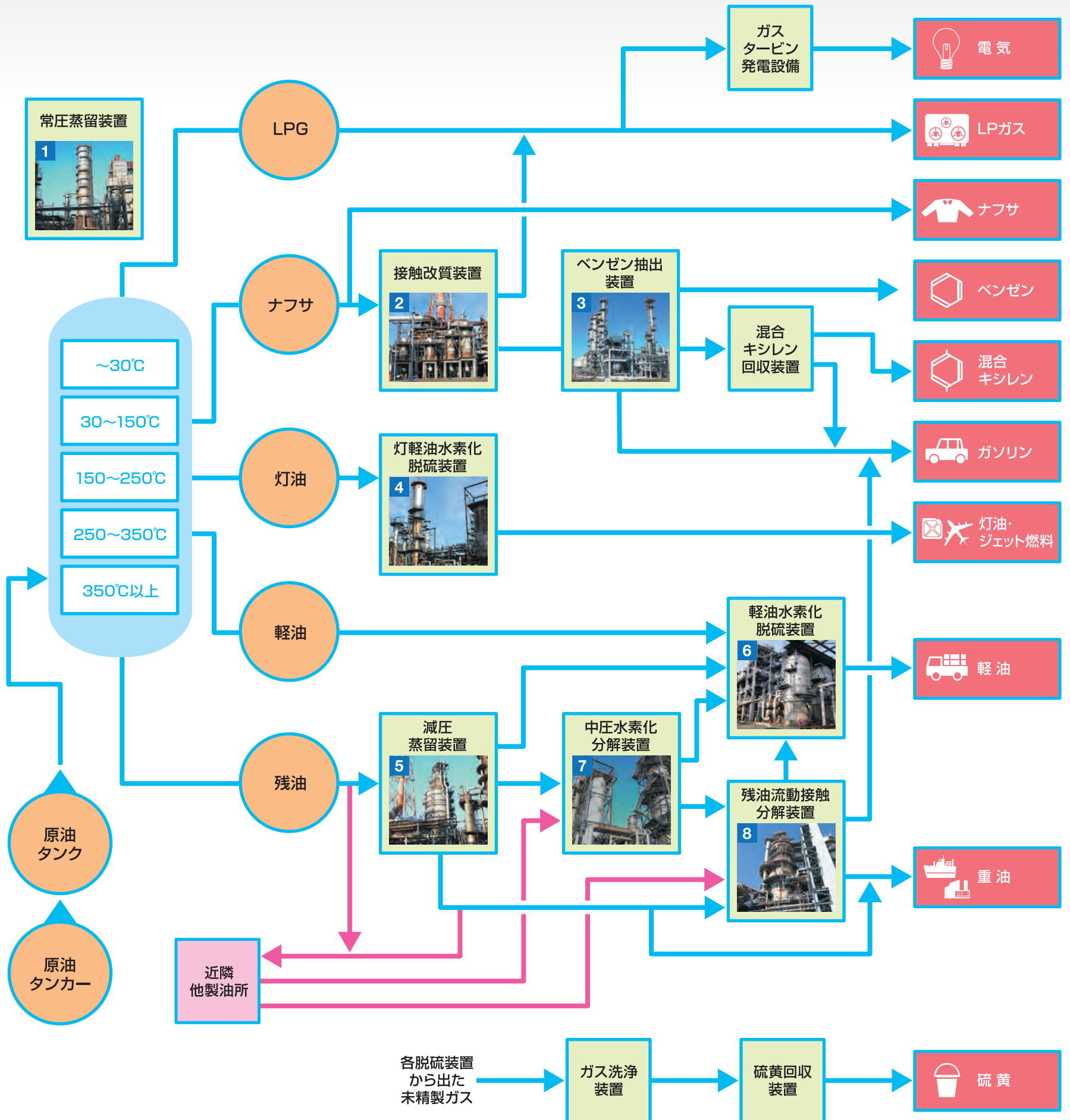
市原市臨海部の144万㎡という広大な敷地に最新鋭の精製設備を擁する
千葉製油所は、我が国最大の石油消費地である関東に立地しています。
環境保全に最大限の配慮をしつつ、効率的に石油・石油化学製品の生産を行い、
残油流動接触分解装置、中圧水素化分解装置を有し、
グループの重要な輸出拠点の一つでもあります。
2020年12月からは、大阪国際石油精製株式会社*運営のもと、
グローバルなネットワークで石油製品の安定供給に貢献します。

*ENEOS株式会社と、中国石油国際事業有限公司傘下の日本法人である
中国石油国際事業日本株式会社との合併会社

■ 製油所・製造所 所在地



石油精製工程



安全性確保の妥協なき追求

石油精製の最重要使命のひとつである安全性の確保に向け、私たちは妥協なき追求を実践しています。たとえば集中コントロールによる警報システムの導入による異常事態への即時的な対応体制、あるいは日常の所内安全パトロールや綿密な機器総点検による災害の未然防止など、可能な限りの安全施策を行っています。



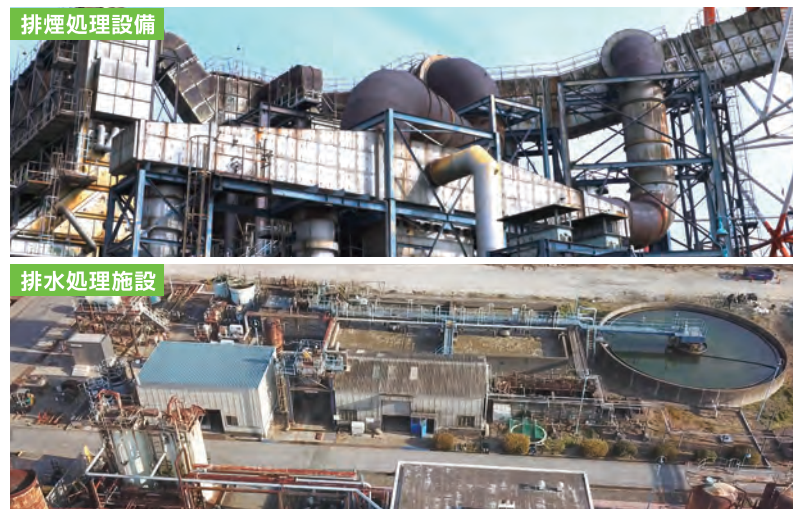
防災への徹底した取り組み

安全性確保と並ぶ防災への取り組みにも万全の体制で臨んでいます。一例をあげれば、化学消防車と専門要員からなる自衛消防隊の24時間待機、および消火設備網の設置など、万一の火災に備えた防災体制を構築しています。さらには万一の油流出にも貯蔵タンク周囲の防油堤、オイル・フェンスや防災船の配置など万全の体制を備えています。



大気汚染・水質汚濁への対策

大気・水質への影響に対し、私たちは万全の備えで臨んでいます。大気汚染防止では、排煙を清浄化する各種装置を設置しており、そのデータはテレメータ(公害監視装置)にて関係官庁にリアルタイムに送られ、24時間監視が行われています。また、水質汚濁防止では、活性汚泥設備などを備えた高度排水処理施設によって環境負荷の無い排水として海へ放流しています。



豊かな地域環境を守るための対策

私たちは騒音防止や廃棄物処理にも徹底した対策を実施しています。たとえば、精製装置を宅地から離れた製油所の奥深くに建設し、同時に騒音発生機器へは十分な騒音防止対策を実施するなど周辺への騒音影響を徹底して配慮しています。また、製油所の緑地帯は緩衝地帯としての役割を果たすと同時に、緑濃く美しい景観として安らぎを与えてくれます。



楽しみながら学べる バスツアー

石油エネルギーの役割と地球環境の大切さについて学べる「なつやすみ科学バスツアー」を開催しています。構内見学や科学実験、消防車乗車体験など。充実したプログラムを用意しています。



ENEOS野球教室

ENEOS野球部による野球教室を開催しています。市原市の小学生に指導を行い、参加者はみな楽しくプレー。様々な活動を通して、地域への貢献活動を推進しています。

近隣国道の道路清掃活動

従業員が国交省のボランティア・サポート・プログラムに基づく道路清掃活動に参加。国道16号の歩道のゴミ回収など、近隣国道の清掃活動は今後も継続して行われる予定です。



海岸ボランティア清掃活動

従業員と協力会社員により、多くの人が訪れる千葉県各地の海岸を清掃するボランティア活動を実施しています。

観劇交流

ENEOS児童文化賞を受賞した「劇団風の子」による観劇上演会を開催。児童文化の主役である地域の子どもたちに、豊かな感性・発想力を育む機会を提供しています。



- 1963年 6月 極東石油工業株式会社として発足
- 1965年 8月 石油精製業の許可および能力60,000バレル/日の常圧蒸留装置新設の許可
- 1966年 7月 千葉製油所の第一期建設工事開始
- 1968年 10月 千葉製油所の第一期建設工事完成、常圧蒸留装置(能力60,000バレル/日)にて操業開始
- 1972年 10月 常圧蒸留装置の能力を100,000バレル/日に改造。これにともなう第二期増強工事完成
- 1975年 10月 第二接触改質装置増設を含む第三期増強工事完成
- 1981年 10月 液化石油ガス(LPG)輸入基地、タンク180,000トン建設工事完成
- 1983年 9月 中圧水素化分解装置、水素精製装置建設工事完成
- 1994年 2月 軽油水添脱硫装置建設工事完成
- 1994年 11月 残油流動接触分解装置建設工事完成
- 1999年 6月 ベンゼン抽出装置建設工事完成
- 2005年 4月 ダイサルファイド分離除去装置建設工事完成
- 2007年 3月 分解ナフサ脱硫装置建設工事完成
- 2012年 5月 極東石油工業株式会社より極東石油工業合同会社へ社名変更
- 2015年 7月 東燃ゼネラル石油株式会社を存続会社として合併、東燃ゼネラル石油株式会社 千葉工場へ名称変更
- 2016年 4月 混合キシレン回収装置建設工事完成
- 2017年 4月 JXエネルギー株式会社と合併し、JXTGエネルギー株式会社 千葉製油所へ名称変更
- 2020年 6月 ENEOS株式会社に社名変更
- 2020年 12月 ENEOS株式会社と中国石油国際事業日本株式会社との合併会社である大阪国際石油精製株式会社による運営に変更